

令和4年度

津別町教育委員会
点検・評価報告書

令和5年8月

津別町教育委員会

教育委員会の主な事務の管理・執行状況の点検・評価並びに 町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月より、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないとされました。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関する学識経験者を有する方の知見の活用を図る」ものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなります。

津別町教育委員会は、地教行法に基づき効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たすため、教育目標に基づく主な施策・事業について点検評価を行い報告書としてまとめましたので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年8月

津別町教育委員会

目 次

教育委員会

| | |
|-----------------|---|
| 1 教育委員会 | 1 |
| (1) 教育長・教育委員名 | |
| (2) 委員会開催状況 | |
| (3) 条例・規則等の制定状況 | 5 |
| (4) 委員の活動状況 | 6 |

学校教育

| | |
|---------------------|----|
| 2 令和4年度予算の状況 | 7 |
| (1) 学校教育関係費 | |
| 3 学校教育の推進 | |
| (1) 小・中学校教育の推進 | |
| ① 学習・生活支援員の配置 | |
| ② 就学援助費交付状況 | 8 |
| ③ 特別支援教育就学奨励補助事業 | |
| ④ 教材・備品購入経費事業 | 9 |
| ⑤ 語学指導助手事業 | |
| ⑥ 全国学力・学習状況調査 | |
| ⑦ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 | 10 |
| ⑧ 木育授業 | |
| ⑨ 学校保健事業 | |
| (2) 高等学校教育の推進 | 11 |
| ① 津別高等学校振興対策事業 | |
| ② 津別高等学校地域別入学者状況 | 12 |
| ③ 奨学金貸与状況 | |
| (3) 学校給食の推進 | 13 |
| ① 学校給食センター運営委員会 | |
| ② 学校給食センター事業 | |
| ③ オール津別食材による給食提供 | |

社会教育

| | |
|---------------|----|
| 4 令和4年度予算の状況 | 14 |
| (1) 社会教育関係費 | |
| 5 社会教育の推進 | |
| (1) 社会教育・体育事業 | |
| ① 社会教育委員研修事業 | |
| ② 家庭教育事業 | 15 |
| ③ 少年期事業 | |
| ④ 青年期事業 | 16 |

| | | |
|-----------------|-------|-----|
| ⑤ 成年期事業 | ----- | 1 6 |
| ⑥ スポーツ推進委員研修事業 | ----- | 1 7 |
| ⑦ 各種大会事業 | ----- | 1 8 |
| ⑧ スポーツ教室・講習会事業 | | |
| 6 図書事業の推進 | ----- | 2 1 |
| (1) 図書事業 | | |
| ① 図書事業 | | |
| 7 芸術文化の推進 | ----- | 2 3 |
| (1) 芸術文化事業 | | |
| ① 芸術文化事業 | | |
| 8 児童館の推進 | ----- | 2 4 |
| (1) 児童館運営 | | |
| ① 児童一般利用状況 | | |
| 9 放課後児童健全育成事業 | | |
| (1) 放課後児童クラブの状況 | | |
| ① 放課後児童クラブ登録状況 | | |
| ② 放課後児童クラブ利用状況 | | |
| ③ 放課後子ども教室登録状況 | ----- | 2 5 |
| 10 社会教育施設管理の推進 | | |
| (1) 社会教育施設管理事業 | | |
| ① 社会教育施設営繕関係 | | |
| ② 社会教育施設管理委託関係 | | |
| (2) 体育施設管理事業 | ----- | 2 6 |
| ① 体育施設営繕関係 | | |
| ② 体育施設管理委託関係 | ----- | 2 7 |
| ③ 体育施設管理備品関係 | | |
| 11 スポーツ合宿実績 | ----- | 2 8 |
| 学識経験者意見 | ----- | 2 9 |

教育委員会

1 教育委員会

(1) 教育長・教育委員名

| 職名 | 氏名 | 選任年月日 | 住所 | 備考 |
|-----------------|--------|----------------|--------------|----|
| 教育長 | 近野 幸彦 | 令和 4年 4月 1日 | 達美 2 2 1 - 7 | |
| 代表委員 (職務代理者) | 松平 範慶 | 平成 17年 10月 1日 | 緑町 8 | |
| 委員 | 松田 真理 | 平成 20年 9月 21日 | 豊永 6 4 - 4 5 | |
| 委員 | 金田 美喜恵 | 平成 26年 11月 10日 | 活汲 1 3 6 | |
| 委員 | 鈴木 健二 | 令和 2年 10月 1日 | 木樋 5 9 - 3 | |

(2) 委員会開催状況

| 期日 | 出席委員数 | 付議案件等 |
|-----------|-------|--|
| R4. 4. 25 | 4 | <p>報告・教育長職務代理者の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の報告 ・寄附・寄贈品の報告 ・学校給食における金属混入について ・学校行事の状況について ・青少年交流事業中止について <p>議案・津別町奨学審査委員会委員の委嘱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町教育支援委員会委員の委嘱について ・津別町社会教育委員の委嘱について ・津別町スポーツ推進委員の委嘱について ・図書館建設検討委員会委員の委嘱について ・津別町立学校歯科医の委嘱について ・令和4年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・津別町学校運営協議会委員の委嘱について <p>協議・津別中学校 生徒・保護者の対応について</p> <p>その他・令和4年度全国学力テスト・学習状況調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について |

| 期 日 | 出 席 委員数 | 付 議 案 件 等 |
|-----------|------------|--|
| R4. 5. 24 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設のボランティア（地域貢献活動）について ・ 校舎長寿命化改修工事に伴う設計変更について <p>議 案・令和4年度津別町の奨学生の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町学校給食センター運営委員会の委嘱について <p>協 議・津別中学校 生徒・保護者の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津別町スポーツ施設ストック適正化計画の策定について <p>その他・公設民営塾の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度 津別町の社会教育について ・ 学校給食費の口座振替の状況について ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業内容について |
| R4. 6. 24 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄贈品の報告 ・ 令和4年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について ・ 令和4年度スポーツ合宿の受入れについて ・ 学校給食センター運営委員会開催報告について <p>その他・公設民営塾について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度津別の教育について ・ 津別中学校 生徒・保護者の対応について |
| R4. 7. 21 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄贈の報告 ・ 新型コロナウイルス感染状況について <p>その他・北海道オールオリンピアンズ連携協定の締結について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公設民営塾の状況について ・ 社会教育施設について |
| R4. 8. 24 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設のボランティア（地域貢献活動）について ・ 図書館建設検討委員会の進捗状況について ・ スポーツ合宿の受入状況について ・ 学校給食センター視察研修報告について <p>諮 問・津別町文化賞・スポーツ賞顕彰者の諮問について</p> |

| 期 日 | 出 席 委員数 | 付 議 案 件 等 |
|----------|------------|---|
| | | <p>議 案・令和4年度奨学生の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度使用小学校教科書用図書の採択について ・令和5年度使用中学校教科用図書の採択について ・令和5年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ・令和3年度津別町教育委員会の点検・評価について |
| R4.9.22 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度津別町教育委員会の点検・評価報告について ・令和4年度全国学力学習調査の結果報告について ・つべつ紅葉マラソン大会の参加状況について <p>議 案・津別町教育委員会顕彰について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町学校給食に関する業務処理要領の一部を改正する要領について <p>その他・9月定例議会の補正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について ・オール津別給食について |
| R4.10.27 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設のボランティアについて ・つべつ紅葉マラソン大会の実施結果について <p>諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について</p> <p>協 議・総合教育会議の開催について</p> <p>その他・令和5年度主要事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度北見ブロック教育委員研修会について |
| R4.11.30 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校グランド遊具の撤去について <p>議 案・教育委員会顕彰について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について ・津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する要綱の一部改正について <p>協 議・津別町総合教育会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町図書館条例の新規制定について ・津別町図書館条例施行規則の新規制定について ・学校給食センター整備基本計画について <p>その他・12月定例議会の補正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾中学生冬期体験会について |

| 期 日 | 出 席 委員数 | 付 議 案 件 等 |
|------------|------------|--|
| R4. 12. 23 | 4 | <p>報 告・教育長の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について </p> <p>議 案・社会教育委員の解嘱について</p> <p>協 議・学校給食費について</p> <p>その他・公設民営塾の状況について <ul style="list-style-type: none"> ・冬期施設の開設について </p> |
| R5. 1. 27 | 4 | <p>報 告・教育長の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について </p> <p>議 案・令和5年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の解嘱について ・津別町図書館条例施行規則の制定について </p> <p>協 議・令和5年度教育行政方針（素案）について</p> <p>その他・学校給食費について <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について ・冬期施設の開設状況について </p> |
| R5. 2. 21 | 4 | <p>報 告・教育長の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・寄附・寄贈について ・学校給食に対するアンケート結果について </p> <p>議 案・令和5年度教育行政方針の決定について <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する認定について ・津別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について ・津別町立小中学校電子情報等の管理・運営に関する規則の一部を改正する規則について ・津別町少年補導委員設置規則の一部を改正する規則について ・津別町文化・スポーツ競技大会派遣費補助金要綱の一部を改正する要綱について ・津別町図書館に関する規則及び要綱の制定、改正又は廃止について ・津別町公の施設に係る指定管理者の指定について </p> <p>協 議・津別町放課後児童健全育成事業の設備運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について <ul style="list-style-type: none"> ・津別町図書館建設検討委員会設置条例を廃止する条例の制定について ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について ・公共用地取得について ・着任式の日程について </p> <p>その他・2月臨時議会補正予算について <ul style="list-style-type: none"> ・3月定例議会補正予算について ・津別中学校・二水国民中学交流事業について </p> |

| 期 日 | 出 席 委員数 | 付 議 案 件 等 |
|-----------|------------|---|
| R5. 3. 20 | 4 | <p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員（管理職）の人事異動について ・教職員（一般職）の人事異動について ・寄附・寄贈について <p>議 案・津別町学校運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町第3子以降学給食費免除実施要綱の制定について ・津別町学校給食に関する業務処理要綱の一部を改正する要綱について <p>その他・社会体育施設の開設予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度津別高校の入学予定について |
| 開催概要 | | <ul style="list-style-type: none"> ・津別町教育委員会議は公開としており、原則として毎月1回開催している。内容としては、「地方教育行政の組織運営に関する法律」及び「教育委員会事務委任規則」、「津別町教育委員会会議規則」に基づき審議を行った。 |

（3）条例・規則等の制定状況

| 番 号 | 題 名 | 公布月日 | 施行月日 | |
|-----|-----|--|------------|------------|
| 規 則 | 第1号 | ・津別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則 | R4. 3. 24 | R4. 4. 1 |
| | 第2号 | ・津別町教育委員会教育長の服務に関する条例施行規則の一部を改正する規則 | R4. 3. 24 | R4. 4. 1 |
| | 第3号 | ・津別町体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について | R4. 3. 24 | R4. 4. 1 |
| 訓 令 | 第1号 | ・津別町教育委員会事務執行規程の一部を改正する規程 | R4. 3. 24 | R4. 4. 1 |
| | 第2号 | ・学校給食に関する業務処理要領の一部を改正する要領 | R4. 9. 22 | R4. 10. 1 |
| | 第3号 | ・津別町立学校教職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する要綱 | R4. 11. 30 | R4. 11. 30 |
| | 第4号 | ・津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費に関する要綱の一部を改正する要綱 | R4. 11. 30 | R4. 11. 30 |

| 番 号 | 題 名 | 公布月日 | 施行月日 | |
|--------|---------|---------------------------|------------|------------|
| 告 示 | 第 1 号 | ・ 第 1 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 1. 21 | R4. 1. 28 |
| | 第 2 号 | ・ 第 2 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 2. 16 | R4. 2. 21 |
| | 第 3 号 | ・ 第 3 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 3. 18 | R4. 3. 24 |
| | 第 4 号 | ・ 第 4 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 4. 15 | R4. 4. 25 |
| | 第 5 号 | ・ 第 5 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 5. 16 | R4. 5. 24 |
| | 第 6 号 | ・ 第 6 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 6. 13 | R4. 6. 24 |
| | 第 7 号 | ・ 第 7 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 7. 13 | R4. 7. 21 |
| | 第 8 号 | ・ 第 8 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 8. 9 | R4. 8. 24 |
| | 第 9 号 | ・ 第 9 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 9. 14 | R4. 9. 22 |
| | 第 1 0 号 | ・ 第 10 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 10. 17 | R4. 10. 27 |
| | 第 1 1 号 | ・ 第 11 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 11. 14 | R4. 11. 30 |
| | 第 1 2 号 | ・ 第 12 回 津別町教育委員会議の招集について | R4. 12. 9 | R4. 12. 23 |

(4) 委員の活動状況

教育委員会議以外の活動状況（教育長を除く）

| 日 付 | 活 動 内 容 | 委 員 名 |
|------------|---------|--------------------------------|
| R4. 4. 4 | 教職員着任式 | 松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員 |
| R4. 11. 30 | 総合教育会議 | 松平職務代理 松田委員 金田委員 鈴木委員 |
| R5. 1. 8 | 成人式 | 松平代表委員 松田委員 鈴木委員 |

学校教育

2 令和4年度予算の状況

(1) 学校教育関係費

(単位：千円)

| 項目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 構成比(%) |
|--------------|----------------|----------------|---------------|--------------|
| 教育総務費 | 170,992 | 178,576 | △7,584 | 32.6 |
| 教育委員会費 | 2,083 | 2,057 | 26 | |
| 事務局費 | 122,885 | 126,545 | △3,660 | |
| 義務教育振興費 | 9,509 | 4,448 | 5,061 | |
| 語学指導助手招致事業費 | ※1 | 5,881 | △5,881 | |
| スクールバス運行費 | 36,515 | 39,645 | △3,130 | |
| 小学校費 | 274,705 | 277,198 | △2,493 | 52.3 |
| 学校管理費 | 254,914 | 252,034 | 2,880 | |
| 教育振興費 | 19,791 | 25,164 | △5,373 | |
| 中学校費 | 41,665 | 33,445 | 8,220 | 7.9 |
| 学校管理費 | 24,340 | 19,930 | 4,410 | |
| 教育振興費 | 17,325 | 13,515 | 3,810 | |
| 保健体育費 | 37,689 | 37,734 | △45 | 7.2 |
| 学校保健費 | 3,589 | 3,061 | 528 | |
| 学校給食費 | 34,100 | 34,673 | △573 | |
| 合計 | 525,051 | 526,953 | △1,902 | 100.0 |

※1：語学指導助手招致事業費を令和4年度から義務教育振興費に統合

3 学校教育の推進

(1) 小・中学校教育の推進

① 学習補助員の配置（継続事業）

13,483千円

| | |
|-------|--|
| 事業目的 | ・小中学校の特別支援学級及び通常学級に在籍している支援が必要な児童生徒たち個々に応じた支援体制を整備し、基礎・基本の学習定着を図る。 |
| 事業概要 | ・学習補助員及び臨時教職員を配置する。 津別小学校（学習補助員のみ） H16：1名、H17～25：2名、H26～27：3名、H28：4名、H29：5名、H30：6名、R1 上半期：6名・下半期：7名、R2：9名、R3 上半期：8名・下半期：7名、R4：7名 津別中学校（学習補助員及び臨時教職員） H24～25：2名、H26～27：3名、H28：2名、H29～R2：1名、R3：2名、R4：学習補助員1名・臨時教職員1名 |
| 成果と課題 | ・支援が必要な児童生徒への学習補助員の指導補助により、教員のみでは不可能な細かい指導が可能となっているが、児童生徒の障がいが多岐にわたっており、教員等の負担は増えている。 |

② 就学援助費（継続事業）

3, 345千円

| | | | | | | |
|-------|--|-----------------------------|--------------------|-----------|-----------|---------|
| 事業目的 | ・経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に必要な援助を行い義務教育の機会均等を図る。 | | | | | |
| 事業概要 | 区分 | 援助品目 | 小学校 | | 中学校 | |
| | 学用品費 | 文房具等 | 28人 | 325,600 | 12人 | 340,950 |
| | 通学用品費 | 靴・傘等 | 18人 | 52,210 | 10人 | 24,970 |
| | 新入学用品費 | 今年度入学者 事前未給付分 (靴・制服等) | — | — | — | — |
| | | | 次年度入学者分 (靴・制服等) | 新小1 1人 | 54,060 | — |
| | | | 新中1 7人 | 441,000 | | |
| | 校外活動費 | 交通費や見学科 | 2人 | 2,800 | 7人 | 8,982 |
| | 修学旅行費 | 旅行経費 | 8人 | 177,392 | 6人 | 364,428 |
| | 通学費 | ことばの教室等 | — | — | — | — |
| | 体育実技用具 | 体育実技用具等 | 6人 | 238,500 | 4人 | 152,120 |
| | 学校病医療費 | 政令で定める疾病 | — | — | — | — |
| | 給食費 | 給食代 | 28人 | 700,000 | 15人 | 450,000 |
| | クラブ活動費 | 部活動費 | — | — | 9人 | 193,473 |
| | 生徒会費 | 生徒会費 | — | — | 15人 | 12,000 |
| | P T A 会費 | P T A 会費 | 19世帯 | 39,000 | 12世帯 | 46,800 |
| | 卒業アルバム代等 | 卒業アルバム代 | 7人 | 84,700 | 5人 | 111,000 |
| 合計 | | | 1,737,452 | | 1,607,376 | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ制度周知を図り随時申請を受け付け円滑に認定審査に努め必要な援助支援を行った。 ・学校長から意見を聞き判定しているが、生活状況の把握が難しい現状にあるため、福祉等関係機関と連携を深め適切な認定に努める。 | | | | | |

③ 特別支援教育就学奨励補助事業（継続事業）

1, 333千円

| | |
|-------|---|
| 事業目的 | ・津別町立小学校及び中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、就学奨励補助を行うことにより児童生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施に資する。 |
| 事業概要 | ・就学奨励補助として、学用品費、通学費、修学旅行費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費について、毎年度国が定める国庫補助単価額と、学校及び教育委員会が徴収する額の1/2を保護者へ補助する。小学校費573千円、中学校費760千円 |
| 成果と課題 | ・特別支援学級の児童生徒の教育機会の均等が保障されるとともに、保護者の負担軽減が図られている。 |

④教材・備品購入経費事業

5, 130千円

| | | |
|----------------|------------------------------|-------|
| 事業目的 | ・小中学校の教材・備品等の整備充実を図る。 | |
| 事業概要 | ・津別小学校 | |
| | 区 分 金額（千円） | |
| | 指定教材消耗品 | 293 |
| | I C T機器修繕料 | 95 |
| | 指定教材備品 | 196 |
| | 情報教材備品（R3繰越明許） | 856 |
| | ・津別中学校 | |
| | 区 分 金額（千円） | |
| | 指定教材消耗品 | 254 |
| | I C T機器修繕料 | 100 |
| | 指定教材備品 | 651 |
| | 情報教材備品 | 1,730 |
| 情報教材備品（R3繰越明許） | 955 | |
| 成果と課題 | ・各教科の教材を整備し、学習環境の整備・充実が図られた。 | |

⑤語学指導助手事業（継続事業）

4, 976千円

| | |
|-------|---|
| 事業の目的 | ・自治体国際化協会（CLAIR）を通して英語指導助手1名を招致し、児童生徒の英語力の向上、英会話を通してコミュニケーション能力や国際理解教育の推進を図る。 |
| 事業概要 | ・講師：デー・アレックス・マイケル（アメリカ）R3.10～ ・内容：小学校での外国語活動教育及び国際理解教育、中・高校の英語科授業及び国際理解教育等 |
| 成果と課題 | ・年度当初に各学校等と打ち合わせを行い、各学校等に派遣を実施。平成28年度から認定こども園での活動も加え、今後も小・中・高校と連携を図りながら効果的な学習活動の補助が必要である。 |

⑥全国学力・学習状況調査（継続事業）

| | |
|-------|---|
| 事業の目的 | ・全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等を図る。 ・平成19年度より継続実施。（令和2年度のみ新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止） |
| 事業概要 | ・実施日時 4月19日（火） ・対象学年及び科目 小学6年生 国語・算数・理科 中学3年生 国語・数学・理科 |
| 成果と課題 | ・各学校で本調査の分析を行い課題を把握し、授業に対する考え方や教材研究、研修体制の強化につながっている。 |

⑦全国体力・運動能力、運動習慣等調査（継続事業）

| | |
|-------|---|
| 事業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、教育委員会や学校においても、本調査結果を活用し、状況把握・課題に対応した施策の実施等に役立てる。 ・平成20年度より継続実施。（令和2年度のみ新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止） |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 4月から7月末まで ・対象学年 小学5年生 中学2年生の原則全児童生徒 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会、学校において調査結果分析に基づき、保健体育の授業等の改善に繋げ、適切な指導を行うことができる。 |

⑧木育授業（継続事業）

869千円

| | |
|-------|---|
| 事業目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・「木のまちつべつ」における特色ある学校づくりの一環として、木育に取り組み、津別の基幹産業である林業、林産業に理解を深めながら、ふるさとに誇りを持ち心豊かな将来を担う人材を育成する。 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・津別小学校 講師：KEM工房 主宰 煙山泰子氏（札幌市在住） 3年生、5年生対象に各学年2時間×3回の授業実施。「木の玉手箱」を用いて木に触れて感じ、町有林に行き「天然林と人工林」の違いを観察、町内にある10種類の木で作成した「木のタマゴ」を焼きペンで加工、自分だけの木のタマゴを作成する授業等を行う。 ・津別中学校 講師：有限会社木 代表取締役 中井秀樹氏（東京都在住） 1年生を対象に2時間×3回の授業実施。「動く木のおもちゃづくり」をテーマに木工芸の考え方やつくり方、動く仕組みの学習及びより高度で安全な道具・工具の使い方の実技指導を行う。 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の木材に対する親しみや木の文化への理解を深め、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育み、環境問題の意識も高めた。 |

⑨学校保健事業（継続事業）

1,949千円

| 検査項目 | 対象児童生徒 | 検査項目 | 対象児童生徒 |
|------------|---|-----------------|---------|
| 内科検診 結核検診 | 全児童生徒 | 心臓検診(心電図) | 小1・中1年生 |
| 歯科検診 | 全児童生徒 | 尿検査 | 全児童生徒 |
| 耳鼻科検診 | 小3・中1年生 | | |
| 眼科検診(視力検査) | 小1～小3年生 | その他の学年：気になる児童生徒 | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康診断により、疾病の予防措置を行い、治療を指示することができる。 ・各検診結果に基づき児童生徒の発育や健康状態を正しく把握し、日常生活を含めた保健指導や相談業務の対応を図る。 | | |

(2) 高等学校教育の推進

①津別高等学校振興対策事業

30,794千円

| | | | |
|-------|--|--------|--------------------------------|
| 事業目的 | ・北海道津別高等学校振興対策事業 | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成8年より、地元唯一の高校の存続と特色ある教育活動のため、津別町振興対策協議会に対し支援を継続している。 ・バス通学費補助、校納金・教科書等の補助を実施。 ・平成28年度より国公立大学入学一時金と制服購入費助成を行う。 ・平成29年度より新たに公設民営塾による無料講習会を長期休業期間において実施し、令和元年9月より通年化を実施。 ・令和2年5月より役場庁舎移転に伴い、議会議事堂から旧社会福祉協議会に移転。 ・令和4年度支援事業は、下記のとおり | | |
| | 区分 | 金額(千円) | 備考 |
| | 国公立大学入学一時金 | 600 | H28～実施 |
| | 公設民営塾 | 19,494 | H29～長期休業中の講習会実施 R1.9～通年化実施。 |
| | 海外研修 | 0 | 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止 |
| | 通学費補助 | 4,266 | H8～実施 |
| | 校納金 | 440 | H16～実施 |
| | 教科書等 | 866 | H16～実施 |
| | 制服購入費助成 | 1,177 | H28～実施 |
| | 振興対策協議会 | 3,500 | 生徒支援費、学校活動支援費 広報活動費 |
| 合計 | 30,343 | | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内中卒者数の減少等から平成23年度より一間口となり、平成24年度から地域キャンパス校となった。 ・振興対策協議会や町の支援と合わせて、平成20年度(平成24年度を除く)以降毎年国公立大学合格者を輩出するなど、その取組みは近隣の中学校や保護者にも認知されてきた。 ・今後も生徒確保には厳しい状況が続くが、津別高等学校の存続及び入学者の確保に向けて振興対策協議会への支援並びに令和元年9月より実施した公設民営塾の通年化を継続していく。 | | |

②津別高等学校地域別入学者状況

| 年 度 | 町内中卒者数 | 津別町 | 北見市 | 美幌町 | 他市町 | 入学者 | 入学者 地元率 |
|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| 2 1 | 5 9 | 3 4 | 1 8 | 4 | 0 | 5 6 | 60.7% |
| 2 2 | 6 2 | 2 8 | 1 3 | 0 | 0 | 4 1 | 68.3% |
| 2 3 | 5 3 | 2 0 | 7 | 3 | 0 | 3 0 | 66.7% |
| 2 4 | 5 1 | 2 5 | 6 | 0 | 1 | 3 2 | 78.1% |
| 2 5 | 5 3 | 1 5 | 2 | 0 | 1 | 1 8 | 83.3% |
| 2 6 | 4 1 | 2 2 | 3 | 2 | 0 | 2 7 | 81.5% |
| 2 7 | 4 0 | 1 1 | 5 | 8 | 1 | 2 5 | 44.0% |
| 2 8 | 4 9 | 2 0 | 4 | 1 1 | 0 | 3 5 | 57.1% |
| 2 9 | 2 8 | 1 9 | 6 | 7 | 0 | 3 2 | 59.4% |
| 3 0 | 3 2 | 1 7 | 1 3 | 1 0 | 0 | 4 0 | 42.5% |
| 元 | 2 8 | 6 | 7 | 2 | 0 | 1 5 | 40.0% |
| 2 | 3 4 | 1 6 | 5 | 2 | 0 | 2 3 | 69.5% |
| 3 | 1 4 | 3 | 6 | 2 | 0 | 1 1 | 27.3% |
| 4 | 2 8 | 1 1 | 5 | 6 | 0 | 2 2 | 50.0% |

③奨学金貸与状況

| | | | | | |
|-------|--|---------|------------------|------|---------|
| 事業目的 | ・教育の機会均等と教育の振興を図るため | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育の機会均等と教育の振興を図るため奨学金を貸与する。 ・令和4年度は、新規2名及び継続8名、合計10名の貸与を決定。 ・専修学校、高等専門学校(4~5年)、大学以上の学生に月額2万5千円 ・高等学校、高等専門学校(1~3年)の学生に月額1万円 ・返還期間は学校卒業翌年から10年以内に返還しなければならない | | | | |
| | 貸与件数 | 貸与金額 | 貸与内訳 | 償還件数 | 償還金額 |
| | 10件 | 2,940千円 | 大学生:8名 高校生:2名 | 17件 | 2,065千円 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・例年、貸付件数は同等で推移していることから、特に大学進学に際して有効なものとなっている。 ・近年、奨学金返済が生活を圧迫することから、大学進学を諦める例も発生している。そのため、給付型の奨学金制度や若者の地元定着を後押しする観点から地元就職した場合の償還免除などの検討が必要であり、貸与金額の上限額についても経済・社会情勢・基金状況等を踏まえ、精査する必要がある。 | | | | |

(3) 学校給食の推進

① 学校給食センター運営委員会

54千円

| 期 日 | 出席委員数 | 付 議 案 件 等 |
|----------|-------|---|
| R4.6.23 | 6 | 議案：令和3年度学校給食実績について 他2件 報告：給食費の銀行口座振替状況について 他2件 協議：給食センターの改築に向けて |
| R4.7.27 | 2 | 遠軽町丸瀬布学校給食センター視察 |
| R4.7.28 | 2 | 陸別町、本別町、浦幌町の学校給食センター視察 |
| R4.12.22 | 6 | 議案：津別町新学校給食センター整備計画（案）について 協議：令和5年度の給食費について |
| 委員会概要 | | ・本委員会は、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため、学校給食の基本的な事項および給食センターの運営等の協議を行う。 |

② 学校給食センター事業

46,960千円

| | |
|-------|--|
| 事業目的 | ・安全で安心な学校給食の提供により、児童生徒の身体に必要な栄養を摂取し、あわせて日常生活における正しい食事等を身に付けさせるため学校給食を実施する。 |
| 事業概要 | ・給食費：小学生240円、中学生276円（平成21年度改定） 高校生237円（平成26年度開始） ・令和4年度給食提供数：361名（児童生徒286名・教職員等75名） ・給食主食の種類別週回数：米飯（3回）、麺類（1回）、パン（1回） ・オーガニック牛乳の供給：平成21年度より週1回提供 |
| 成果と課題 | ・建物や設備の老朽化が著しいため給食センターの建て替えが課題となっていたが、津別町新学校給食センター整備計画を策定し、令和5年度には建て替えに向けての基本・実施設計業務を行うこととなった。 |

③ オール津別食材による給食提供（上記②の内数）

260千円

| | |
|-------|--|
| 事業目的 | ・全て地場産物の食材を使用することにより、子供たちが津別の食材及び学校給食に興味を持ち、郷土を愛する心の育成に寄与する。 |
| 事業概要 | ・各主食（米、麺、パン）1回の計3回でオール津別産食材給食を提供 11月22日 牛丼、豆腐と油揚げの味噌汁、白菜のナムル、 オーガニック牛乳 11月25日 きつねうどん、サンマルコ春巻、オーガニック牛乳 11月30日 スライスパン、かぼちゃのシチュー、 ヤーコンのマヨ和え、オーガニック牛乳 |
| 成果と課題 | ・給食センター発行の「食育だより」によりオール津別食材によるメニューを紹介し地産地消への理解や生産者に対する感謝の気持ちを学ぶ良い機会となった。今後も引き続き、地元の旬を迎えた食材を用いて食育の推進を図る。 |

社会教育

4 令和4年度予算の状況

(1) 社会教育関係費

(単位：千円)

| 項目 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 | 構成比(%) |
|-------|---------|---------|---------|--------|
| 社会教育費 | 204,177 | 160,294 | 43,883 | 47.4 |
| 社教総務費 | 88,242 | 82,138 | 6,104 | |
| 社教振興費 | 19,617 | 27,694 | △8,077 | |
| 会館管理費 | 96,318 | 50,462 | 45,856 | |
| 保健体育費 | 226,225 | 153,697 | 72,528 | |
| 保体総務費 | 10,542 | 10,865 | △323 | |
| 体育施設費 | 215,683 | 142,832 | 72,851 | 52.6 |
| 合計 | 430,402 | 313,991 | 116,411 | 100.0 |

5 社会教育の推進

(1) 社会教育・体育事業

① 社会教育委員研修事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-----------------------|--|----------------------------|---|
| 北見・斜網地区 社会教育委員研修会 | R4.10.2 | 北見・斜網地区 社会教育委員 連絡協議会 | <ul style="list-style-type: none"> 全体テーマ「地域の未来～ひとづくり・つながりづくり～」 パネルディスカッション パネラー：一般財団法人ドット道東代表理事 中西拓郎氏、弟子屈町地域おこし協力隊 川上椋輔氏 グループワーク ※欠席 |
| オホーツク管内 社会教育振興セミナー | R4.10.16 | 管内社会教育 委員連絡協議 会 | <ul style="list-style-type: none"> 基調講演「バードウォッチングを通じて地域を知る」 講師：日本野鳥の会オホーツク支部長 川崎康弘氏 事例紹介 (財)小清水自然と語る会 |
| 成果と課題 | ・対面での研修会が再開し、市町村委員間の情報交換と交流を深めることができた。 | | |

②家庭教育事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-----------------|---|-------|--|
| 家庭教育学級「ちびっこクラブ」 | R4.4～R5.3 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・就園前の子育て中の親が集い、子育て勉強会や交流など自主企画をして運営する学級 ・クラブ会員13組 |
| 家庭教育講座 | R4.5.16 R4.6.6 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・スマホで映像制作教室 講師：立川彰氏 20名参加 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で活動を縮小させながら続けている状況ではあるが、子育て中の親同士の仲間づくりや直面している課題に対しての学習会など重要な役割を担っている。 ・親子のコミュニケーションの構築と生活課題の解決に向けて、親子で学べる講座の充実を図り、家庭の教育力向上を引き続き目指す。 | | |

③少年期事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-------------------------|---|---|---|
| 放課後児童クラブ | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・留守家庭等の児童の放課後や土曜日などの居場所づくり ・84名登録 |
| 放課後子ども教室 (子どもの居場所確保) | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日などに子どもの居場所を設け、学習、体験、交流等をする事業 ・11名登録 |
| 放課後子ども教室 (体験事業) | 通年 | 教育委員会 役場林政係 JAつべつ 北海道オール・ オリンピックズ | <ul style="list-style-type: none"> ・土日や長期休日を利用して自然、文化、スポーツ、農業などの体験を中心とした事業 ・全20回、63名登録 延べ481名参加 |
| 船橋市・南アルプス市青少年交流事業(訪問) | 中止 | 船橋市青少年交流団・南アルプス市青少年交流実行委員 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、登録者のみと利用制限を行い運営した。保護者の理解も図りながら、安心・安全な放課後や休日の子どもの居場所を設けることができた。親の就労率が高く、登録児童は増加傾向しており、指導員不足と活動スペースの確保が懸念される。 ・宿泊体験事業は実施できなかったが、津別のフィールドを活かした様々な体験活動の場を提供することができた。また、アスリートによるスポーツ教室を通じて、親子で体験し一緒に学ぶ機会を多く提供することができ、子どもたちの日常活動の裾野を広げるきっかけとなった。 | | |

④ 青年期事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-------------------|---|--------------|--|
| 高校生ボランティアサークルひまわり | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内高校生及び津別高校生を対象に自主事業の企画運営、地域参画などから経験と学びを得る事業 ・メンバー9名 ・定例会7回、自主事業4回、研修1回、社会教育事業1回 |
| 青年活動プロジェクト and | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の異業種の青年たちが集い、交流を深め、地域参画し、町内の青年たちの居場所とまちづくりに寄与する事業 ・メンバー17名 ・定例会8回、自主事業2回、内部研修交流2回 |
| 青少年海外研修派遣事業 | 中止 | 津別町海外研修実行委員会 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため。学校教育係へ移行 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高校生は、自分たちの思いや考えを形にし、行動実践に移し、実施した事業により達成感ややりがいに繋がっている。引き続き、地域とのつながりにより学ぶ活動の支援をする。 ・青年団体は職業柄、満足に活動ができずモチベーションの低下にもつながっている。他事業との連携など活動への参画とやりがいを見つける必要がある。 | | |

⑤ 成年期事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|--------|------|-------|--|
| 社会教育講座 | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民の生活文化を高める事業 ・「スマホ教室」 講師：サツドラホールディングス（株） 鈴木ひらり氏 60歳以上16名参加 ・「大地の侍」映画鑑賞 講師：HAL財団 寿大学生33名、一般4名参加 ・「ホラネロコンサート」 講師：ホラネロ 寿大学生41名、一般21名参加 |

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-------------------|--|-------|--|
| 大人の体験事業 | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちだけではなく、地域の人が津別の良さを体感し、地域の活性化や指導者の育成を図る事業 ・「かわ塾」3名参加 ・「カーリング教室」3名参加 ・「カヌー体験」5名参加 ・「ポッチャ体験」5名参加 ※放課後子ども教室アソビバ！つべつと連携 |
| 高齢者大学（寿大学）講座 | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が持っている能力や経験を活かしながら、現代社会に対応する生活課題の学習、研修とクラブ活動を通して、社会参加の拡充を図る事業 ・全16講座、学生53名 延べ658名参加 |
| 社会教育人材バンク「まなび～ぷる」 | 中止 | 教育委員会 | ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者大学は、見学旅行や修学旅行、大学祭も実施することができた。共に学びあう仲間たちと楽しく参加することができ、交友も深めることができた。 ・生活課題、鑑賞、自然体験など幅広い分野で講座を実施することができた。町民のニーズを捉え、さらなる学びを広げ、活動の活性化につながる講座を展開する。 | | |

⑥スポーツ推進委員研修事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|----------------------|---|------------------------|--|
| 北見・網走ブロックスポーツ推進委員研修会 | R4.10.29 | 北見・網走ブロックスポーツ推進委員連絡協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・功労者表彰 ・講演「91歳日本最高齢インストラクター『タキミカ』の作り方」講師：(株)パワーエイジング社長 中沢智治氏 ※ブロック・管内合同開催 |
| オホーツク管内社会体育振興セミナー | R4.10.29 | 管内スポーツ推進委員連絡協議会 | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・年齢は関係なく、好奇心・探求心・行動力が若さを保つ秘訣であることを学ぶことができた。 | | |

⑦各種大会事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|----------|--|------------------|--|
| 紅葉マラソン大会 | R4.10.2 | つべつ紅葉マラソン大会実行委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図ることを目的とした事業 ・ゲスト：野口みずき氏 ・ハーフ、10k、5k、3kのコース。カレーライスの提供、抽選会、表彰を実施 ・289名参加 |
| スケートイベント | R5.1.28 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かした冬季スポーツに親しみ、町民相互の交流を図るとともに、健康促進に対する意識の高揚を図る事業 ・講師：藤村祥子氏（美幌町） ・スケート体験会 ・チーム対抗リレー ・レクリエーション「玉とり合戦」 ・町民50名参加 |
| スキーイベント | R5.2.5 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かした冬季スポーツに親しみ、町民相互の交流を図るとともに、健康促進に対する意識の高揚を図る事業 ・講師：川端絵美氏（札幌市） ・フリーレッスン ・デュアルレース ・レクリエーション「ソリリレー」 ・じゃんけん大会 ・町民37名参加 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・津別の四季を感じながら誰もが気軽にスポーツに親しむことができる機会の提供ができた。 | | |

⑧スポーツ教室・講習会事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|----------|------------|-------|---|
| 少年少女水泳教室 | R4.7.27～29 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生16名参加 延べ43名参加 |

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|--------------------|---|-------|---|
| 少年少女体力測定会 | R4. 5. 14 R4. 10. 15 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力増進度チェックとトレーニングの動機付けを図る事業 ・小学生108名参加 |
| 少年少女スケート教室 | R5. 1. 11～13 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生24名参加 延べ77名参加 |
| ジュニア講習会 「スキー教室」 | R5. 2. 5～6 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る事業 ・スキー基礎技術指導 ・小学生11名参加 こども園年長26名参加 小学3年生32名参加 |
| ジュニアスポーツ教室 | R4. 5. 22 R4. 8. 27 R4. 9. 19 R4. 9. 25 R4. 11. 5 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートによるスポーツ教室を通して、スポーツの楽しさや魅力を伝え、興味関心や積極的にスポーツに親しむ意欲を高め、体力向上を図る。また、親子のコミュニケーションや子育ての課題解決について親子で学び、子どもがスポーツに親しむ機会の促進を図る事業 ・かけっこ教室 講師：北風沙織氏 35名参加 ・カーリング教室 講師：本橋麻里氏 13名参加 ・サッカー教室 講師：豊川大地氏、和田拳斗氏 41名参加 ・トランポリン教室 講師：高田直氏、三浦亮汰氏 20名参加 ・ポッチャ教室 講師：狩野亮氏 19名参加 |

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-------------------|---|----------------------------------|---|
| 水中エアロビクス教室 | R4.6.10～ 7.22 計7回 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・水とスポーツに親しみながら体力づくりの生活化を図る事業 ・専門指導者によるアクアビクス教室 ・講師：横尾早苗氏（北見市） ・一般成人16名、延べ80名参加 |
| ゴールドスポーツ教室 | R4.6.2～ 7.21 R4.10.6～ 12.1 R5.1.12～ 3.9 各8回 | 保健福祉課 教育委員会 (かるっち やつべつ) | <ul style="list-style-type: none"> ・筋力低下による転倒を予防する介護予防事業 ・65歳以上の高齢者を対象にストレッチ、筋力アップのためのトレーニング、レクゲーム等で体力維持を図る ・講師：石川朋美氏（札幌市） ・28名参加、延べ193名参加 |
| 健康づくり教室 | 4月 6月 8月 10月 12月 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり、健康づくりへの意識の高揚と運動の習慣化を図る事業 ・講師：スポーツプラザ進化塾より派遣（北見市） ・シェイプボックス、ユニバーサルヨガアース、エアロビ、ズンバ、ストレッチ ・一般成人212名参加 |
| 健康運動教室から だりセット | R5.2.1～3.1 計5回 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進のため体力づくりの習慣化を図る事業 ・エアロビクス、ズンバ ・講師：泉れい氏（北見市） ・一般成人14名、延べ52名参加 |
| 着衣水泳体験会 | R4.6.3 | 教育委員会 水泳協会 | <ul style="list-style-type: none"> ・着衣のまま水に入り、泳ぎ方などを学び、水難事故に備える事業 ・36名参加 |
| スポーツ推進事業 | R4.8.9 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ合宿に訪れた選手に指導してもらい、町内の学生や指導者のレベルアップを図るとともに交流を深める事業 ・野球クリニック 講師：富良野緑峰高校 ・27名参加 |

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-----------|---|-------|---|
| 歩くスキーのつどい | R5.2.25 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・冬季の運動不足解消を図る事業 ・上里林道散策 ・一般成人5名参加 ・講師：太田博茂氏（北見市） |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動教室は健康維持・増進に留まらず、仲間同士の交流の場ともなっており、心身ともに健康で元気な生活を営む動機付けにつながっている。 ・様々な種類のスポーツ、トレーニングを提供し、若い年齢層の参加者も増加しつつある。運動の習慣化、生活化に向けてさらなる工夫と見える化を図る。 | | |

6 図書事業の推進

(1) 図書事業

① 図書事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|-----------------------------|------------|-------|--|
| 読書チャレンジ (感想文・ポップ・画)コンクール | R4.7～R4.12 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書離れが進んでいる現代社会で、本への関心を深め読書普及の推進を図る事業 ・町内の小中学生を対象に、読書感想文・ポップ・感想画を募集し、その中から優秀作品を表彰する ・小学生 56名応募 中学生 71名応募 |
| 移動図書配本事業 | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの本に触れる機会を増やし、感性豊かな心を育むことを目的とした事業 ・小中学校、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののかに定期的に配本している |
| 絵本ふれあい事業 ブックスタート事業 | 通年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に6ヶ月乳児の保護者に対し、絵本等を提供し、絵本を通じて親子の絆を深めることの大切さを伝える事業 ・親子 延べ16名 |
| ブックセカンド事業 | R5.3.2 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を通して親子で本に親しみ、日常的な読書の推進につなげる事業 ・新1年生となる年長の子供たちに絵本を贈呈する ・年長 28名 |

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|--------------------|---|-------|--|
| 読書ノート | R4.12～R5.2 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の読んだ本を記録し、読書への関心を深め、読書推進を図る事業 ・読んだ本の感想やおすすめポイントをノートに記録して提出する ・表彰し、図書室内にてベストランキング本の展示紹介 ・小学生 6名提出 |
| 読書推進活動 (特集・展示等) | 通 年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・四季や時事などに合わせ図書の展示や、家読（よむ日のススメ）を推進し、読書の日常化を図る事業 ・2か月ごとにテーマ展示 24テーマ ・過去5年間で図書室で貸出が多かった本と年間ベストセラーを対象に自分が思う1冊を選び投票。「みんなの本総選挙」 6件 ・利用者のオススメ図書の募集、展示、貸出し 5件 ・貸出福袋 3冊入り15セット ・認知症に関する図書の展示、貸出し 40冊 |
| 図書室まつり | R4.12.4～11 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・本に対する様々なふれあいを通して、本に親しむとともに参加者同士の交流を図る ・古本市、読書チャレンジコンクール表彰式、バルーンアートショー、おはなし会、スタンプラリー、メッセージツリー作り、公民館図書室40年記念～10月23日展～ ・253名参加 |
| 学校巡回司書 | 通 年 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進及び学校図書室の活性化を図る事業 ・小学校71回、中学校65回訪問 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、参加者同士の交流を図る難しさはあったが、事業案内を積極的に行ったことで参加者も増え図書室の利用促進につながった。 ・幼児から大人まで広く読書に親しめるよう図書の整備と充実を図り、余暇時間や学習に本を活用してもらえよう更なる工夫を重ねる。また、本に触れ価値観と創造に触れる場となるような読書推進活動を、より一層取り組んでいく。 | | |

7 芸術文化の推進

(1) 芸術文化事業

① 芸術文化事業

| 事業名 | 実施時期 | 主催団体 | 事業概要 |
|------------------------------------|--|-------------------|---|
| 第25回日本フィルセミナー 第35回日本フィルこども芸術の広場 | R4.9.9～11 | 津別町民芸術劇場 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・道内外のアマチュア奏者の基礎学習の場と地元中学生の技術指導、町民に生のクラシック音楽の鑑賞機会を提供することにより、地域の振興を図る事業 ・セミナー受講生36名、中学生22名 ・コンサート入場者79名 |
| 子ども芸術劇場 | R4.9.3 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の乳幼児から大人に対して優れた芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな情操の涵養を図る事業 ・影絵劇「モチモチの木」「スイミー」 劇団影法師 ・町民31名、児童館児童17名入場 |
| 青少年移動芸術劇場（中学校） | R4.9.30 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の豊かな情操の涵養を図る事業 ・「ひのき屋ライブ」 ひのき屋 ・中学生73名、教諭20名 |
| 青少年芸術劇場（小学校） | R4.9.7 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・優れた舞台芸術を鑑賞する機会の提供と、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る事業 ・「風の少年シナド」 劇団風の子 ・小学生159名、教諭19名 |
| 第14回つべつりコーダーセミナー | R4.10.29～30 | 津別町民芸術劇場 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・全国のリコーダー愛好家が参加し、講師から基礎から合奏法のレッスンを受け、音楽的な向上を目指すとともに音楽を愛する町民との絆を深める事業 ・セミナー受講生30名、学校4校44名 ・コンサート入場者21名 |
| NHK 全国放送公開番組 | R5.3.26 | 教育委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内の親子に対し、優れた芸能の鑑賞及び体験の機会を提供し、親子の絆とコミュニケーションの構築を図る事業 ・おかあさんといっしょ 宅配便「ファンターネ！小劇場」 ・366名入場 |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりに鑑賞事業が開催され、芸術に触れる機会を多く提供することができ、生の演奏等を肌で感じ、心を動かす体験の場となった。 | | |

8 児童館の推進

(1) 児童館運営

① 児童館一般利用状況

| 利用区分 利用状況 | 児童クラブ | 一般児童利用 | 乳幼児・保護者 地域住民等 |
|--------------|---|--------|------------------|
| 年間利用総児童数 | 8,586人 | 1,202人 | 34人 |
| 1日平均利用人数 | 30.1人 | 4.2人 | 0.1人 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 「あたたかく、安全で安心できる居場所」として、小中学生の健全で楽しい遊び場を提供し、子どもたちの心と身体の健やかな育成を図る | | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、昨年同様に児童クラブ登録者とスクールバス利用者のみの受け入れとし、児童館一般利用者の自由来館の再開はできなかった。 感染状況を見ながら、再開のめどを検討していく。 | | |

9 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブの状況

① 放課後児童クラブ登録状況（対象児童：小学生）

| クラブ名 児童数 | つべつ | | | 備考 |
|-------------|-------|--|--|----|
| 学区児童数 | 163人 | | | |
| 登録児童数 | 84人 | | | |
| 加入割合 | 51.5% | | | |

② 放課後児童クラブ利用状況

| クラブ名 利用状況 | つべつ | | | 備考 |
|--------------|--|--|--|----|
| 年間利用総児童数 | 8,586人 | | | |
| 1日平均利用人数 | 30.1人 | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者が仕事のため昼間、家にいない児童に対して放課後の適切な遊び及び生活の場を提供して、児童の健全育成を図る。 次世代を担う児童が、心豊かで健やかに育まれるよう、体験・学び・交流・遊び・生活の場を提供する。 | | | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> 基本的な新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、生活指導と遊びの工夫をし、クラブ運営と子どもの居場所を確保することができた。また、保護者の理解を図ることができた。 保護者の就労による放課後児童クラブ登録者が年々増加しており、施設環境の整備と指導員の確保が課題となっている。 遊びの制限を緩和し、遊びの充実と異年齢交流や学びが図れるよう、工夫して子どもたちが活発に活動できる環境を整え、精神的ストレスの解消や体力の向上を図りたい。 | | | |

③ 放課後子ども教室登録状況

| | | | | | |
|-------------------|---|--------------|-------|--------------|--------------|
| コース名 登録 児童数 | 自然文化 | チャレンジ キッズ | 緑の少年団 | 農業体験・ だいち | アソビバ・ つべつ |
| 津別小・中 | 「アソビバ・つべつ」に統合 | | | | 63人 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後や週末を利用し、子どもたちの居場所づくりの一環で様々な体験活動を提供する事業。津別町をより知ってもらうため、あらゆるフィールドを活用して年間約20回程度実施している。 ・子どもだけではなく親子で参加できる事業を地域で活動している団体ボランティアに指導をいただき、地域の方から学び・交流を深める事業を展開し、参加者も指導者も地域全体で楽しみ、郷土愛を高める。 | | | | |
| 成果と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様に新型コロナウイルス感染防止のため、宿泊体験の事業は実施できなかったが、それ以外の津別のフィールドを活かしたプログラムについてはすべて実施することができた。子どもたちの活動・体験の場所、居場所として工夫しながらも多くの事業を展開することができた。 児童クラブとも連携を図り、子どもの居場所や活動の場を広げたい。 ・地域の人や資源を通して津別のすばらしさ、学び、経験値を広げる機会となった。また、親子の体験は、親子のコミュニケーションの構築にもつなげることができた。 | | | | |

10 社会教育施設管理の推進

(1) 社会教育施設管理事業

① 社会教育施設営繕関係

(単位：千円)

| 工 事 名 | 事業費 | 工 事 概 要 |
|---------------------------|-------|-------------------------------|
| 中央公民館非常用照明取替修繕 | 3,465 | 定期検査において指摘された箇所(R4は高所作業)の取替修繕 |
| 中央公民館講堂扉布団貼りパネル取替修繕 | 1,427 | 経年劣化に伴う取替修繕 |
| 中央公民館非常用放送設備及び自動火災報知機取替工事 | 2,530 | 設備の老朽化に伴う取替工事 |
| 中央公民館柱上負荷開閉器取替修繕 | 1,210 | 経年劣化に伴う事故の恐れがあるための取替修繕 |

② 社会教育施設管理委託関係

(単位：千円)

| 委 託 事 業 | 委託料額 | 委託先 | 委 託 概 要 |
|---------|--------|----------------|----------|
| 中央公民館管理 | 11,836 | (株)津別町 振興公社 | ・施設管理、清掃 |

| 委託事業 | 委託料額 | 委託先 | 委託概要 |
|------------|-------|----------------|----------|
| 町民会館管理 | 7,588 | (株)津別町 振興公社 | ・施設管理、清掃 |
| 児童館管理 | 1,034 | (株)津別町 振興公社 | ・清掃 |
| 食品加工センター管理 | 647 | (株)津別町 振興公社 | ・施設管理、清掃 |

(2) 体育施設管理事業

① 体育施設営繕関係

(単位：千円)

| 工事名 | 事業費 | 工事概要 |
|---------------------|--------|------------------------------------|
| 町民ゲートボール場休憩室等解体工事 | 4,070 | 施設閉鎖に伴う解体工事 |
| 屋内ゲートボール場屋根等改修工事 | 19,107 | 屋根等の老朽化に伴う改修工事 |
| パークゴルフ場芝生補修工事 | 9,790 | 芝生劣化に伴う改修工事 |
| サッカー・ラグビー場女子トイレ改修工事 | 2,200 | 新型コロナウイルス地方創成臨時交付金活用による感染防止のため改修工事 |
| 温水プール電解次亜生成装置更新工事 | 9,900 | 生成装置老朽化に伴う更新工事 |
| 温水プール自動火災報知機取替工事 | 1,353 | 基盤故障に伴う取替工事 |
| 運動広場町営野球場外野芝生改修工事 | 44,022 | 芝生劣化に伴う改修工事 |
| 運動広場町営野球場スコアボード改修工事 | 2,783 | 新ルール対応及び表示機器老朽化に伴うLED化の工事 |

② 体育施設管理委託関係

(単位：千円)

| 委託事業 | 委託料額 | 委託先 | 委託概要 |
|------------------|--------|----------------|--|
| 多目的 運動公園管理 | 34,454 | (株)津別町 振興公社 | ・芝生管理、除草、清掃、受付業務等 |
| 温水プール 施設管理 | 6,138 | (株)津別町 振興公社 | ・プールの清掃、施設管理、プール監視等 |
| スケートリンク 造成・管理 | 1,645 | 津別総合管理センター | ・造成業務、管理業務 |
| ファミリー スキー場管理 | 2,090 | (株)津別町 振興公社 | ・ファミリースキー場の管理、リフトの運行、管理着雪ネットの設置、撤去及びロッジ周辺、リフトコースの除雪 |
| 体育施設等管理 | 7,978 | (株)津別町 振興公社 | ・本岐地区多目的公園、達美野球場、町民ゲートボール場、修武館、農業者トレーニングセンター芝生管理、除草、清掃、整地等 |
| トレーニング センター管理 | 7,753 | (株)津別町 振興公社 | ・施設の管理業務(利用受付、電話、その他施設管理に関する業務) |
| グレステン スキー場管理 | 737 | (株)津別町 振興公社 | ・施設の利用、設備の維持管理等 |

③ 体育施設管理備品関係

(単位：千円)

| 備品 | 購入額 | 概要 |
|------------------------------|-------|-----------------------------------|
| ふれあい公園草刈り機 | 4,400 | 車両更新計画に基づく、経年劣化の進んだ車両の買い換え |
| 農業者トレーニングセンター折り畳み固定式バスケットゴール | 6,710 | 経年劣化により落下の危険があるため、取り換え |
| 本岐体育館トランポリン | 3,058 | 旧式タイプのトランポリンを廃棄し、公式大会仕様のトランポリンを購入 |

11 スポーツ合宿実績

令和4年度 スポーツ合宿受入実績

| | チーム名 | IN | OUT | 選手 | スタッフ | マネ | 計 | 泊 | 日 | 泊延人 | 延人員 | 競技種目 | 宿泊先 |
|----|----------|--------|--------|-----|------|----|-----|---|---|-----|-----|-------|-------|
| 1 | とわの森三愛高校 | 6月12日 | 6月16日 | 30 | 5 | 0 | 35 | 4 | 5 | 140 | 175 | サッカー | でてこい |
| 2 | 中標津高校 | 6月12日 | 6月13日 | 13 | 3 | 0 | 16 | 1 | 2 | 16 | 32 | バレー | みいと |
| 3 | 玉越レーシング | 7月16日 | 7月18日 | 13 | 2 | 0 | 15 | 2 | 3 | 30 | 45 | グレステン | でてこい |
| 4 | 札幌藻南FC | 7月28日 | 7月31日 | 14 | 2 | 24 | 40 | 3 | 4 | 120 | 160 | サッカー | でてこい |
| 5 | 北広島西高校 | 8月5日 | 8月9日 | 12 | 2 | 2 | 16 | 4 | 5 | 64 | 80 | サッカー | 交流館 |
| 6 | 富良野緑峰高校 | 8月6日 | 8月9日 | 8 | 4 | 0 | 12 | 3 | 4 | 36 | 48 | 野球 | みいと |
| 7 | 帯広工業高校 | 8月8日 | 8月10日 | 15 | 3 | 2 | 20 | 2 | 3 | 40 | 60 | ラグビー | でてこい |
| 8 | 北見工業高校 | 8月8日 | 8月9日 | 16 | 3 | 3 | 22 | 1 | 2 | 22 | 44 | ラグビー | nanmo |
| 9 | 帯広畜産大学 | 8月31日 | 9月3日 | 19 | 0 | 0 | 19 | 3 | 4 | 57 | 76 | グレステン | でてこい |
| 10 | 玉越レーシング | 9月23日 | 9月24日 | 13 | 2 | 0 | 15 | 1 | 2 | 15 | 30 | グレステン | でてこい |
| 11 | チームMSJ | 10月15日 | 10月16日 | 8 | 3 | 10 | 21 | 1 | 2 | 21 | 42 | グレステン | みいと |
| | 計 | | 11 | チーム | | | 231 | | | 561 | 792 | | |

成果と課題

- ・昨年に引き続きコロナウイルス感染症の影響もあり、道外からの合宿受け入れの実績はなかったが、昨年より多くのチームを受け入れる結果となった。
- ・コロナウイルス感染症の影響も少なくなった今、道内・道外あわせて合宿誘致活動に力を入れていきたい。

学 識 経 験 者 意 見

教育相談員 廣 部 純 栄

令和4年度教育行政方針及び点検評価報告書に基づき説明を受け、考え方や各事業等について感じた事を述べさせていただきます。

教育委員会議については、従前通り開催し、関係例規の改正、児童生徒の学力向上を図るための環境構築について議論され、津別町の教育行政方針に則り、実施に向けて取り組まれております。

学校教育では、長引く新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、日々の学校教育活動を続けていることが確認できました。

また、津別町は、支援が必要な児童生徒が多数いますが、学習補助員を小学校に8名、中学校に1名配置し、さらに中学校には町採用の臨時教員1名を配置するなど、津別町独自の取組をしていることで、児童生徒の学習環境の向上はもちろんですが、現場の教職員の負担軽減にもなっています。しかし、町独自の取り組みでは限界があるので、教職員の定数も含めた検討が必要と強く感じます。

国のGIGAスクール構想で導入された一人一台端末(iPad)の活用については、児童生徒自身が端末操作に慣れ、授業中の活用も進んでいますが、ICT端末を多く使うことになれば情報モラルやインターネット活用方法、危険性などの情報リテラシー教育も必要となります。津別町は、児童生徒を有害な情報から守る閲覧制限等を行うフィルタリングソフトも導入されICT活用環境は整備されていると思います。今後は、効率的な授業の実施や教職員の負担軽減も含めたICT端末のさらなる活用を各学校で模索してほしいと思います。

近年小学校にも3・4年生の外国語活動や5・6年生への教科の導入と英語授業の低年齢化が進んでいますが、このコロナ禍においても、津別町では小中学校へ語学指導助手を活用した授業が例年通り行なわれていました。令和3年11月から“デー アレックス マイケル”氏が採用されていますが、津別町の生活にも慣れ親しみ、こども園から小・中・高校と連携を図りながら実践活動を行なっていると感じています。

また、津別町の特色を生かした独自事業である木育事業は、小中学校の授業計画に位置付けられており、愛林の町に生まれた子ども達が、木の文化に対する理解を深め、自然やふるさとを大切にすることを養う体験活動として実施されており、今後も継続して実施していただきたいと思います。

教材・備品購入については、各学校の要望を踏まえて、町当局の理解のもと子ども達の教育環境が整備されております。

津別高等学校振興対策については、町内外の生徒確保を念頭に、生徒の夢や希望をかなえる魅力ある学校として津別高校の特色が定着しつつあります。公設民営塾は基礎基本の復習から就職試験、国公立等の大学受験対策まで、個々に応じた個別指導で着実にきており、ここ数年連続して国公立大の合格者が数名いることは成果といえます。

学校給食の推進では、児童生徒へのアンケートの実施や学校給食センター運営協議会との協議を踏まえるとともに、町内生産者と連携しオール地場産品の食材による給食を継続し、地場産品への理解を深める食育を充実させて下さい。また、老朽化した学校給食センターも建設計画が始まりました。様々な視点から課題整理・検討を行い、新学校給食センターに期待します。

社会教育では、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、文化活動やスポーツ活動に参加できる場を提供し、幼少期から高齢期まで生涯にわたって学び続けることができるよう、各種講座の開設や充実に努められています。

図書事業の推進については、移動図書は、小中学校をはじめ、認定こども園、高齢者施設へも行われ、本に触れる良い機会になっています。今後も事業の継続と拡大を期待します。中央公民館図書室司書職員が定期的に小中学校を巡回することにより、学校図書室の環境整備や学校と連携して「よむ日のススメ」を家庭・地域に奨励してきました。読書の履歴を通帳に記録する「読書の記録」のシステムも、小中学生や一般の利用者と中央公民館図書室を結びつけるツールとして有効と考えます。今後は、新設される待望の図書館の開館準備を進め、できて良かった自分たちの図書館として親しまれることを期待します。

芸術文化の推進については、道内外のアマチュア奏者の基礎学習の場と地元中学生の技術指導、町民に生のクラシック音楽の鑑賞機会を提供している日本フィルセミナークリニックとコンサートの開催や、小中学校と連携して鑑賞する機会の提供により、青少年の芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養が図られていると感じています。今後も町民の興味関心に耳を傾け魅力的で質の高い芸術・文化に触れる機会の創出を期待します。

児童館の推進及び放課後児童健全育成事業については、次世代を担う児童が心豊かで健やかに育まれるよう、体験・学び・交流・遊びを通じた健全育成活動を継続することにご尽力いただきますようお願いいたします。